

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年 1月24日

協議会名:白老町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
道南バス株式会社	①元気号(臨海温泉～虎杖浜駅北～萩野公民館線) ②元気号(社台駅前～白老駅前～保健福祉センター線) ③元気号(保健福祉センター～イワクラ団地～萩野公民館線) ④元気号(萩野公民館～イワクラ団地～保健福祉センター線) ⑤元気号(社台駅前～イワクラ団地～萩野公民館線) ⑥元気号(萩野公民館～虎杖浜駅北～臨海温泉線) ⑦元気号(保健福祉センター～太平洋団地～萩野公民館線)	住民が求めている病院への通院や買い物などに利用可能な地域公共交通について、他の交通機関とのアクセスを考慮し、平成29年10月改正した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 元気号は平成28年度年間利用者目標を24,400人としていたが、実際の利用者は20,144人と下回った。(補助対象系統は、以下のとおり) 鉄北線についてはH28下期は目標13.7人/日に対し22.3人/日と上回ったが、H29上期は目標40.3人/日に対し18.6人/日と大きく目標を下回った。 石山・社台線についてもH28下期目標46.6人/日に対し40.0人/日、H29上期では目標43.6人/日に対し36.4人/日と目標をこちらも下回り、年間の目標利用者数についても下回った。	平成29年10月に改正した元気号について、今後も住民や交通事業者等と意見交換を行い、3月に策定した「地域公共交通網形成計画」の検証をすることで、暮らしの利便性と快適性を確保していく。また、住民から理解されやすい路線図と時刻表の作成を行い、利用者の増加にも努める。